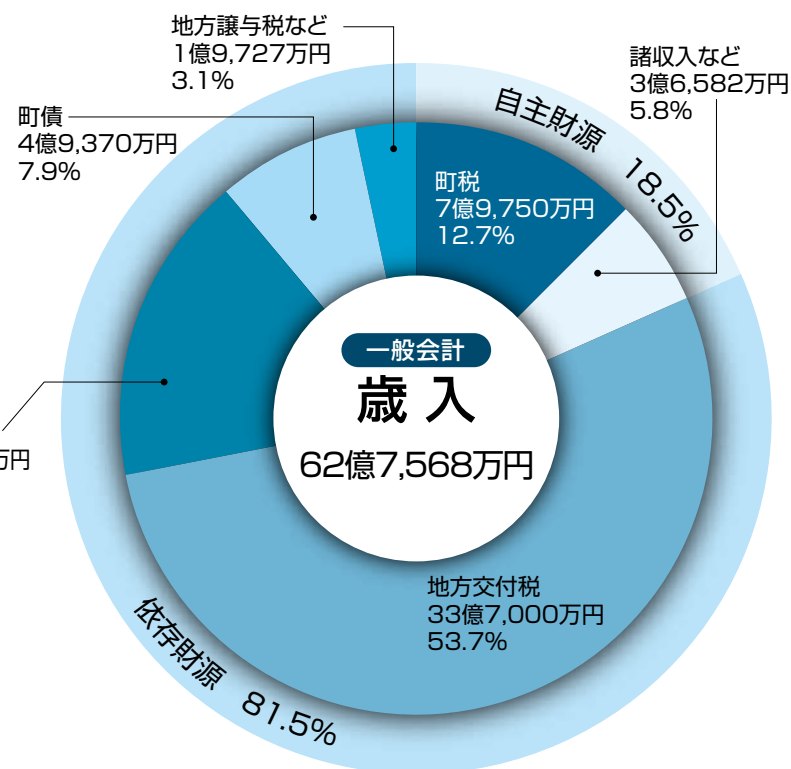


わたしたちの予算

平成27年度
一般会計予算



【国・県支出金】
国・県が使用目的を特定して交付
【地方交付税】
所得税、法人税、消費税などの国税収入の一部を国が交付
【町債】
公共施設の整備などのための借入金
【諸収入】
財産貸付による財産収入や各種分担金、負担金、使用料

平成27年度和水町一般会計の当初予算は62億7,568万円となりました。昨年度の当初予算と比較すると2億8,849万円の増額となっています。

昨年は町長、町議会議員の選挙のために当初予算が骨格予算(※1)であったことが主な増額の要因であると考えられます。

(※1)自治体が、政策的予算を除いて最低限必要な経費のみで編成する予算のこと

歳入について

歳入予算は自主財源(町が独自にもつ財源)が18.5%、依存財源(国・県からの補助金)などが81.5%となっています。

自主財源である町税は、近年の景気状況は緩やかな回復傾向にあるものの、町では少子高齢化による生産年齢人口の減少などの影響で7億9,750万円【1,116万円減】で総額の12.7%となっています。

依存財源である地方交付税は33億7,000万円【2億4,000万円増】の53.7%、国・県支出金は道路整備事業(補助など)により10億5,139万円【2億1,773万円増】の16.8%、町債は道路事業の縮小により4億9,370万円【3億3,615万円減】の7.9%となっています。

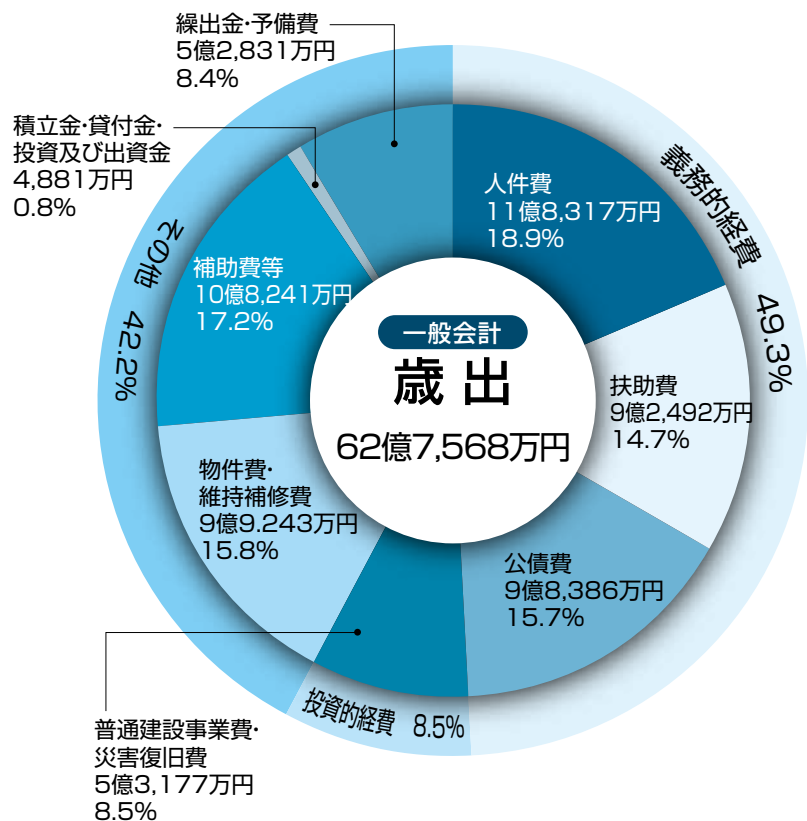
歳入に占める依存財源が81.5%と依然として高くなっています。地方交付税、国・県支出金および町債に依存しており、町税の徴収率向上や公有財産の有効利用で自主財源の確保に取り組んでいくとしています。

歳出について

歳出予算は、義務的経費(人件費、扶助費、公債費)が歳出総額の49.3%、投資的経費(普通建設事業、災害復旧費)8.5%、その他(物件費、補助費など)42.2%となっています。

義務的経費の扶助費は、9億2,492万円【1億3,782万円増】14.7%、公債費は、三加和区域学校建設における起債償還が本格的に始まったため、9億8,386万円【1億159万円増】15.7%、投資的経費である普通建設事業費災害復旧事業費は、前年度が骨格予算だったため、5億3,177万円【3億9,534万円増】8.5%、物件費・維持補修費についても骨格予算で前年度当初予算に道路関係の維持補修費計上されていなかったため、9億9,243万円【1億3,351万円増】15.8%、補助費などは、光プロードバンド整備補助金の減などの理由により10億8,241万円【3億4,002万円減】17.2%、積立金・貸付金・投資及び出資金は、4,881万円【2億1,587万円の減】0.8%、繰入金・繰出金は、5億2,831万円【45万円減】8.4%となっています。

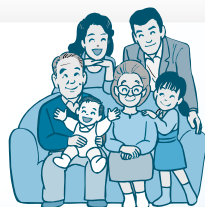
【 】は前年度予算との比較です。
%は予算全体に占める割合です。



【扶助費】
子ども手当や高齢者、障がい者、乳幼児の医療費助成費
【普通建設事業費】
道路、橋梁、河川や公共施設の建設費
【物件費】
委託料、消耗品、通信運搬費など
【補助費等】
各種団体への補助金、負担金

民生費

福祉・医療のために
17億6,497万円
28.1%
(163,378円)



公債費

借り入れた借金の返済のために
9億8,386万円
15.7%
(91,073円)



総務費

行政運営のために
8億2,209万円
13.1%
(76,098円)



土木費

道路やまちづくりのために
7億3,514万円
11.7%
(68,050円)



衛生費

ゴミ処理や病気予防のために
5億9,843万円
9.6%
(55,395円)



教育費

学校や生涯学習のために
5億8,200万円
9.3%
(53,874円)



農林水産業費

農林業の振興のために
3億2,704万円
5.2%
(30,273円)



消防費

消防や火災予防のために
2億2,940万円
3.7%
(21,235円)



商工費

商工業・観光振興のために
1億713万円
1.7%
(9,917円)



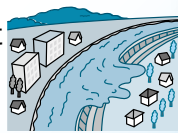
議会費

議会運営のために
1億296万円
1.6%
(9,531円)



災害復旧費

災害時の復旧のために
765万円
0.1%
(708円)



予備費

緊急時に備えるために
1,500万円
0.2%
(1,389円)



目的
内容
予算額
構成比
町民一人当たりの金額

内訳の見方

(3月末日現在の人口10,803人で計算)

※端数処理の関係上、合計が合わない場合があります。